平成２４年７月２０日

高松市長
大 西 秀 人 様

高松市塩江地区地域審議会
会 長　 喜 多 維 昭

建設計画に係る平成２５年度および２６年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて（平成２４年４月２６日付け高地政第８３号に対する回答）

このことについては，別紙のとおりです。

建設計画（合併基本計画）に係る平成２５年度および２６年度の実施事業に関する意見について

地区名：塩江地区

番号	項　　目	意見の内容
1	温泉施設の整備（奥の湯温泉の今後）	奥の湯温泉は，平成24年度から指定管理者制度を導入し，民間事業者による運営により，様々なアイデアとノウハウで利用の促進を図ると共に，地産地消および地元雇用など地域に根差した運営により，地域活性化に貢献するという理念で導入したと思いますが，24年6月の第1回地域審議会時の多数の意見にみられるように，地域の取引業者数の減少や地産地消でにぎわっていた産直も激減するなど，地域連携がうまく機能していないように思われます。 現時点での評価もまだ時期早尚とは存じますが，今後，一定期間経過した時点での，入浴客数，雇用状況，産直，地元業者の納品状況等の検証と指定管理者の運営方針も含め，地域連携の今後の進め方について市の考えをお示し願いたい。 また，リニューアルの件につきましても，民間能力の活用による新たな可能性やニーズを見定めた上でということになっておりますが，以前から申し上げておりますように，老朽化が著しいことから，併行した議論をお願いしたい。
2	塩江地区学校統合事業	近年，全国で学校の統廃合に伴う廃校後の利活用については，当地域と同じような環境と条件下で，例えば，自然体験型宿泊施設，人材育成事業関係施設，カフェ，地域間交流拠点，情報発信基地，農産物や加工品の開発・製造・販売施設等，有効に活用している事例は沢山あり，廃校フォーラムも開かれています。 統合後の3小学校の在り方について，市としてどのようなお考えか，また，具体的な利活用方策を検討されているのであればご提示願いたい。 現在，塩江温泉観光協会が実施する塩江マイスター支援事業も，「ものづくり」に携わる人材育成や塩江ブランドの開発に力を入れており，その拠点施設としての活用も一案かと思います。 また，先進地視察や廃校フォーラム等への参加，および有識者を招いての研修会等を開き，併せて全国の廃校活用施設の情報・利活用の実態を事例として示して欲しい。 今後，地域からの提案を積極的に取り入れていただくために，各地区で利活用検討会を設置することを要望する。
3	塩江ケーブルテレビ光ケーブル化	平成24年度第1回地域審議会において，塩江ケーブルテレビの光ケーブル化を進める旨のお話がございましたが，整備時期，概要，内容等の説明が無かったと思います。 塩江ケーブルテレビの機器は設置から長い年月が経ち，老朽化が著しく，煩雑な故障に伴い，住民からの苦情もよく耳にします。また，緊急防災無線にも支障をきたす可能性があります。 塩江地区につきましては，テレビの難視聴地域で，現在市が進めています光ケーブルでの全市域ウルトラブロードバンド化構想とは，一部性質が異なると認識していただき，今までと同じ負担で同類のサービスが継続できるよう，早急な着手・整備を要望します。
4	温泉水給水事業	奥の湯温泉の温泉水給水事業の継続を要望する。 昨年度，温泉水減圧設置工事は終了したが，今後の温泉水を安定供給するためには，配水管の敷設から30年以上経ち，劣化していると考えられるので，管の点検を実施して，修繕が必要なところは早急に対応し，先々で敷設管の取替えを計画して欲しい。

5	観光イベントの充実	塩江4大祭りイベント等により，国道193号線の大渋滞を防止するための対策として駐車場の確保を要望する。 小中学校建設工事により，イベント用の駐車可能台数が激減し国道の大渋滞を招いており，参加者や周辺住民等に大変迷惑をかけている。また，火災はもとより，怪我・病気などの救急対応にも支障をきたす事になり，危機管理的な面からも，イベント時の臨時駐車場確保を強く要望する。